

## 第94回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2002年10月以降の全国の火山活動状況は以下のとおりです。

三宅島では、依然として山頂火口から二酸化硫黄を含む火山ガスが放出され続けていますが、その量は減少してきています。また、島内の地殻変動は、静穏期にもみられるわずかな膨張に転じました。別紙のとおり統一見解を発表しました。

浅間山では、熱的活動が活発な状態となっています。阿蘇山では、熱的活動、地震活動ともやや活発な状態で推移し、火山活動が上昇傾向にあります。

これらの火山では、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

### 1. 北海道地方

#### 1) 雌阿寒岳

- ・1月1日に振幅の小さな火山性微動があり、この火山性微動の発生の前後から規模の小さい火山性地震がやや増加しました。
- ・ボンマチネシリ96-1火口の温度は引き続き高温状態にあります。噴煙活動はやや弱まる傾向にあります。

#### 2) 十勝岳

- ・62-2火口は高温で活発な噴煙活動が続いています。
- ・地殻変動には特に変化はありませんでした。

#### 3) 樽前山

- ・A火口をはじめドーム周辺では、引き続き熱的活動が活発な状態となっています。
- ・地震活動には、目立った変化はありませんでした。

#### 4) 有珠山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

#### 5) 北海道駒ヶ岳

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

### 2. 東北地方

#### 1) 岩手山

- ・震源が浅い地震の少ない状態が続いています。東岩手の地下10kmでは、低周波地震の活動が継続しています。
- ・姥倉山から黒倉山の噴気活動は、やや活発な地域もありますが、全体としては低下傾向にあります。

#### 2) 吾妻山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

#### 3) 安達太良山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。
- ・沼ノ平火口北東部の地下で温度の低下が進んでいるためと見られる、地磁気の変化が観測されています。

#### 4) 磐梯山

- ・10月から12月に時折、振幅の小さな火山性微動がありました。
- ・山体北側の火口壁から噴気が上がっているのが、引き続き、時折観測されています。
- ・地殻変動には、特に変化は認められません。

### 3. 関東・中部地方

#### 1) 那須岳

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

#### 2) 草津白根山

- ・火山活動に大きな変化はありませんが、火山ガスや地磁気に若干の変化が観測されています。

#### 3) 浅間山

- ・2000年9月以降、火山活動はやや活発な状態が続いています。
- ・2001年5月頃から噴煙活動はやや活発な状態が続いています。また、2002年6月頃からの火口底温度の高い状態も続いています。
- ・二氧化硫黄の放出量は、10月以降減少し、一日あたり1千トン以下の状態となっています。

#### 4) 御嶽山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

#### 5) 富士山

- ・2001年6月以降、引き続き、低周波地震の回数が少ない状態です。

#### 6) 箱根山

- ・12月30日から1月2日にかけて、地震活動が一時的にやや活発化しました。

#### 7) 伊豆東部火山群

- ・10月7日に一時的に地震がやや多く発生しました。震源域は、これまで群発地震が発生していた地域より約10km北に位置します。

#### 8) 伊豆大島

- ・11月7日に、島内東部の浅いところを震源とする地震の活動が一時的にやや活発化しました。
- ・表面現象には特に変化はありません。
- ・長期的には、山体膨張の地殻変動が続いています。

#### 9) 三宅島

- ・別紙のとおり統一見解を発表しました。

#### 10) 八丈島

- ・12月14日から17日にかけて、八丈島西山付近を震源とする地震が一時的に多発したほかは、火山活動に特別な変化はありませんでした。

### 4. 九州地方

#### 1) 九重山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

#### 2) 阿蘇山

- ・中岳第一火口では、表面の熱活動、地震活動ともやや活発な状態で推移しています。
- ・中岳第一火口は全面湯だまり状態が続いていますが、南側火口壁下の赤熱現象が継続して発生しており、温度上昇も観測されています。
- ・孤立型微動は、10月と11月に一時的に多発し、12月以降は多い状態が続いています。火口の東側を中心に発生しているB型地震も、やや多い状態となっています。
- ・噴煙活動には、特に変化はありません。

・これらのことから、火山活動は上昇傾向にあると考えられます。

### 3) 雲仙岳

・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

### 4) 霧島山

・御鉢付近で火山性微動が時折発生したほかは、地震・微動の活動は静穏な状態で経過しました。

・表面現象、地殻変動には特に変化はありませんでした。

### 5) 桜島

・南岳の噴火の規模は比較的小さく、11月中旬に噴火活動が活発化したほかは、回数も降灰量も少ない状態でした。

・南岳の爆発回数は、10月に9回、11月に17回、12月に1回、1月は21日12時までに1回でした。

### 6) 薩摩硫黄島

・10月9日と10日に、島内で降灰が観測されました。

### 7) 口永良部島

・地震活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

### 8) 諏訪之瀬島

・2000年12月から火山活動が活発な状態が続いています。

・11月6～8日、12月5日に爆発的な噴火が多発しました。爆発回数は、10月は3回、11月は35回、12月は82回、1月は21日12時までに7回でした。

・島内の集落では、空振が感じられ、爆発音と鳴動も聞こえ、降灰も観測されました。

## 5. 海底火山

・福徳岡ノ場

・12月19日に変色水域が確認されましたが、その他の特異現象は観測されませんでした。